

レースにあたっての審判上の諸注意

第30回広島県秋季ボート選手権大会兼第73回広島県高等学校新人戦 《2021/10/17 広島県福山市芦田川》

今大会は、日本ボート協会競漕規則(2021年4月施行)と大会要項、および以下の諸注意とこの代表者会議での指示決定事項に基づいてレースを運営します。注意してレースに臨んでください。

1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態で開催に参加してください。今大会はとくにコロナウイルス感染防止への対策も怠らないように。発熱での来場および出漕は絶対に避けてください。出艇後でも、体調不良等の場合は無理せず、必ず最寄りの審判員またはその他の役員に申し出てください。

2. 事故防止と安全確保、航行ルールの遵守について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全確保に努め、安全第一で行動してください。安全については、各クルーがまず自主的に対策を十分に施してください。
- ② レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合、レースを中止することがあります。
- ③ コース沿いを回漕中および練習中のクルーは、レース艇が来た場合、レースの100m手前から最終クルーが通過するまでの間、その場に停止しておいてください。違反した場合はイエローカードが与えられます。
*芦田川は川幅が広いので、福山側（フィニッシュからスタート方向）を漕行する場合、本ルールは適用しません。但し、スタート・ゴールライン上は停止しないよう注意してください。

3. 監視と舵手計量について

- ① 出漕するレースの2時間前から1時間前までに、オールを持ち、レースに出漕する服装で、クルー全員がそろって来てください。その際に、4×+は舵手の計量も行います。規定の時間内に監視を受けなかったクルーは当該レースから除外となり、今大会に出場できなくなります。
*ただし、今大会のみ監視の開始時間の設定は行いません。当日会場に到着したら随時レース1時間前までに受けてください。
- ② 舵手計量は、ユニフォームを含め男子 55kg・女子 50kg以上とします。これに満たない者は、最大15kgのデッドウェイトを舵手の最も近いところに置かなければなりません。

5. ユニフォームおよび服装について

- ① 各クルーとも統一したユニフォーム、同じ服装(アンダーシャツ・タイツ等を着用する場合も統一)で出漕すること。なお靴下は今大会では艇外から見えない部分については不問とします。統一されたユニフォーム・同じ服装とは、「外見がまったく同じもの」のことですから、色あせ、迷彩模様・幾何学模様等には注意してください。また個人名・イニシャルやポジション名等の記載も認められませんので注意して下さい。
- ② 帽子・はちまきについては、クルー内で着用する者としなければなりません。ただし、着用する場合は、漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。

6. コースへの進入について

前のレースがスタートし、100mを通過すると、発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みます。予め発艇塔後ろの待機水域で待機して、呼び込みを受けたクルーは、指示されたレーンに速やかに進入してください。

7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 出漕クルーは発艇定刻2分前までに所定の発艇位置(ステッキボート)に着いてください。特段の事情がない限り、遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。許可なく遅れレースに参加できなかったクルーはDNS(Did not start)となり以後の全ラウンドに出漕できません。

- ② 発艇号令は、旗（発艇旗）で行います。ロールコール：バウナンバー順に出漕クルー名（シングルスカルは選手名）が呼ばれ、次に「アテンション」明瞭な間の後「ゴー」と発せられ、同時に発艇旗が振り下ろされる。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合がありますので、発艇員の指示をよく聞いておいて下さい。ロールコールに代え「クイックスタート」と発せられ「アテンション」「ゴー」
- ③ 発艇定刻2分前になったら、いつでも発艇できるように準備をし、各クルーの責任で進行方向を定めておいて下さい。発艇猶予は認められませんので注意して下さい。

8. レース中の留意事項について

- ① レース中に艇の故障およびオールの破損等が生じて、特別な救済措置はありません。またこれに関する異議は認めません。故障や不具合が生じないように、十分に点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進捗し、他のレーンへの侵害や、他艇の妨害をしてはなりません。レース中、主審は、障害物の出現や、他レーンに侵入して他艇と接触・衝突の危険が切迫しているクルーに対し、レース状況によっては白旗を掲げ「〇〇止まれ！」のコールをし、当該クルーのみに停止を求めることがあります。この場合、主審の指示に従ってください。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることもありますが、容赦してください。

9. レース中のシングルスカル選手の落水について

- ① レース中に落水(転覆)した場合、自力で速やかに乗艇(回復)し、決勝線を通過すれば着順を認めます。ただし、自力での乗艇に手間取り、次のレースに支障をきたすとき、また安全上の問題があると審判員が判断したときには救助します。この場合、DNF(Did not finish)となり、以後のレースには出漕できません。
- ② 万一の落水時、ストレッチャーから足が抜けず、危険な状況も想定されます。適切な長さ（シューズが水平以上にならない様）のヒールロープが付けられているか、もしくはシューズが簡単に外れる形式のものを必ず使用してください。なおこれらに違反すると除外となることがあります。

10. 指導・警告・除外とその取り扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為等を行った場合、指導や警告(注意・イエローカード・レッドカード)が与えられます。同一ラウンド内でイエローカードを2回与えられるとレッドカード(除外)となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判より該当色のカードが提示されます。
- ② 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合、指導やイエローカードが与えられます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が警告対象と判断した場合、イエローカードを与えることがあります。
- ③ クルーが受けたイエローカードは、レースが成立した時点で解消しますが、レース成立後の回漕中に受けたイエローカードは、次レースがある場合にはそこへ持ち越されるものとします。

11. レース終了後について

- ① 決勝線を通過したクルーは、全クルーが通過し、主審が旗を掲げるまでゴール付近で待機しておいてください。なお、主審は状況により、決勝線の手前の位置で旗を掲げる場合もありますから、注視しておいてください。
- ② レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がった場合はレース成立ですが、赤旗が揚がった場合は、レースに何らかの問題があったことを示していますので、その場にとどまり主審の指示を待ってください。

12. その他

- ① 無線通信機器（携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの、その機能のあるもの）の艇内持ち込みは厳禁で、失格となりますので注意してください。
- ③ メンバー変更、棄権届けなどは、指定の用紙にて出漕するレースの最低1時間前までに競漕委員会に提出し、許可を得てください。